

森林教室で治山ダムの見学及び森林オリエンテーリングを実施

盛岡森林管理署

10月3日（金）、当署管内の滝沢市一本木小学校5年生を対象に森林教室を開催しました。この森林教室は、一本木小学校からの要請を受け毎年行われているもので、今回で13回目となります。

降雨のため、予定していた滝沢市内の国有林での間伐体験は中止し、雫石町内の御神坂沢国有林に移動しました。はじめに森林管理署の仕事について清水署長が説明した後、津内口総括治山技術官が長さ120m、工事費1億円を超える治山ダムに案内しました。子供たちはそのダムの大きさに驚いていましたが、活発に質問もしていました。続いて、松尾森林技術指導官お手製の土石流モデルキットで、森林の持つ土石流を防ぐ機能を学んでもらいました。



その後、網張国有林内にある網張ビジターセンターへ移動し、館内で長岐総括森林整備官から木材生産・バイオマス関係について、また、松尾森林技術指導官からは森林の多面的機能・森の動物等について、スライド等により学んでもらいました。



さらに、網張ビジターセンター館内でのクイズゲームを行い、楽しみながら森林環境への理解を深めてもらいました。



当日は生憎の雨模様で森林教室日和とはなりませんでしたが、子供たちには、森林がもっと身近になり、森林整備の大切さや治山事業の重要性を学ぶ機会となってくれたのではないかと、深まる秋の思い出の一日になってくれたのではないかと考えております。

最後に、一本木小学校の先生方、そして網張ビジターセンターの職員の皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。